

医療支援活動を調整

AMDA
派遣 マレーシア洪水で

国際医療ボランティアAMDA（岡山市北区伊福町）は1日、大雨による洪水で甚大な被害が出ているマレーシア北部の緊急医療支援活動のため、大政朋子調整員（42）を派遣した。

AMDAによると、マレーシア北部は12月下旬から記録的な豪雨に見舞われ、30日までに17人の死亡を確認、避難者は12万人以上になるという。

1日朝、JR岡山駅を出発。関西空港で看護師の柴田幸江さん（36）＝兵庫県尼崎市＝と合流し、空路クアラ Lumpur 入りした。

現地NGO団体とともに被災地のクランタン州、トレンガヌ州で情報収集し、支援物資の



調達・配布、避難所の巡回診療などを行う。大政調整員は「支援が届いていない地域も多いと聞く。情報をいち早く把握し、活動につなげたい」と話していた。（大橋孝平）

緊急医療支援活動のため
JR岡山駅を出発する
大政調整員